

(E 部門 ホームページ掲載用 講評)

高校生でも継続して演奏をしている皆様に
敬意を評したいと思います。演奏が好きで
自由に演奏する喜びもとても大切ですが、
作曲家が一音一音命をかけて作曲した事を
忘れてはならないと思います。作曲当時、
どういふ背景があったのか、その時の作曲様式
などを考察することで、よりその曲の魅力に近づく
と思います。作曲家のメッセージも代弁するのにおに
依りて、弾いている自分の音が表現でき
ているか？を常に感じながら、聴くゆとりを
持つて弾くと、むしろその曲の世界が広がると思います。

取りまとめ 魚住幸正